

2016市場まつり・花育 「ガーデンシクラメンのウェルカムボード」作り

作成者：株式会社東京砧花き園芸市場 矢島 武志

■ 実施主体

名称：株式会社東京砧花き園芸市場

担当窓口：販売企画部

所在地：東京都世田谷区大蔵1-4-1

H P：http://www.kinuta-kaki.co.jp

■ 概要

一年に一度、10月に世田谷市場内で行われる「世田谷市場まつり」は、地域住民の方へ卸売市場に対する理解を深めてもらうとともに、食生活の向上や食育・花育の普及などを目的として開催するイベント。新鮮な花などの即売コーナーの他、体験コーナーでは、花育教室を毎年行っている。

日時：2016年10月16日（日）（2回開催）

1回目 10時から10時30分（30分）

2回目 11時から11時30分（30分）

■ 目的：花の普及

今まで花や緑にあまり興味を持っていなかった方にも、作る楽しみ、育てる楽しみ、飾る楽しみを味わっていただき、地域住民の方に植物との関わりを深めてもらう。

対象者・人数：市場まつり来場者の幼児、小学生、親子

指導者：講師1名 アシスタント4名

■ 資材

・ウェルカムボード（土台となるボードは事前に作成）

・テラコッタ鉢 ・鉢底ネット

・培養土（元肥入り）

<その他の備品>

・割りばし ・プラスチックカップ

・鉢皿 ・ビニール袋（持ち帰り用）

・ビニールシート（テーブルクロス）

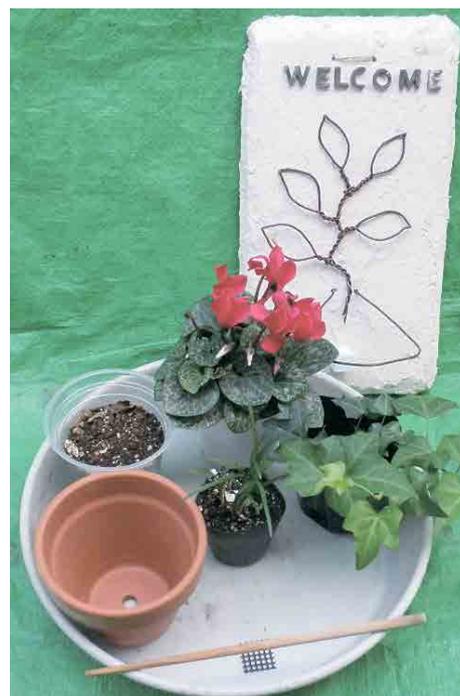
・テーブル15脚 ・椅子20脚

・作成手順説明パネル

■ 花材

・ガーデンシクラメン ・ヘデラ

・リュウノヒゲ



【取り組み内容】

家庭内でも花を楽しみ、玄関先に花を飾ってもらいたい、手軽に長期間観賞してもらいたいとの思いで、ハンギング（吊り下げ）タイプのウェルカムボードを使用した。ウェルカムボードの土台は、断熱材などに使われる板状の発泡ポリスチレンに漆喰を塗り、ワイヤーを取りつけた市場の花育担当者が作成したオリジナルの資材。花材は、長期開花性のガーデンシクラメン、丈夫で耐寒性のあるヘデラ、リュウノヒゲを選んだ。

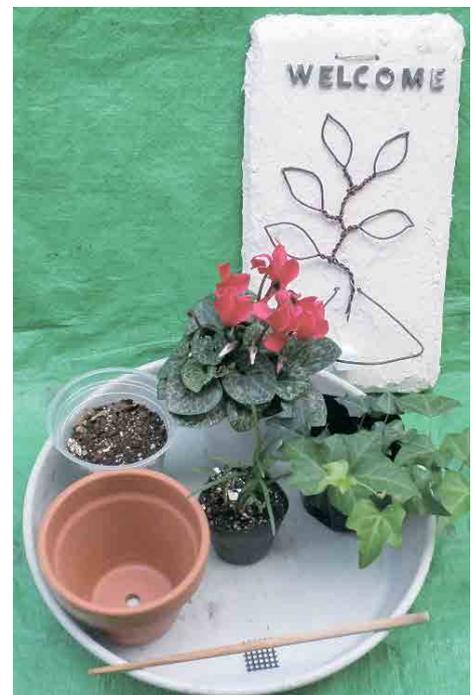
<作り方の手順>

1. 資材・花材

- ・使用する資材や花材は1人分ずつにわけておく。



市場のスタッフから説明を聞く



2. テラコッタ鉢の穴を鉢底ネットで塞ぐ

- ・鉢底ネットは、鉢が塞がるぐらいの大きさに切る。
- ・培養土の流出防止、害虫の侵入防止の為。



3. 植え込み

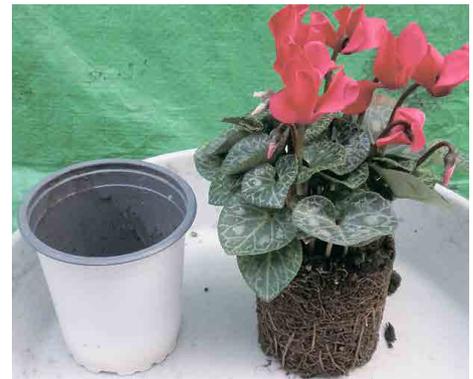
- ・ 植え込み作業は、大きめの鉢皿の中で行うと土などが広がらず後片付けが簡単にできる。
- ・ 鉢の表（ロゴ刻印）を正面に向ける。
- ・ 培養土を適量入れた後に、ヘデラ、リュウノヒゲを鉢の後方に設置する。



・ ガーデンシクラメンを植え込む

苗を回しながら、一番きれいに見える面を探し正面に向けて植える

※ポットから出して土に植えるときに根を切りすぎたり乾燥させたりして根を傷めないように注意する。

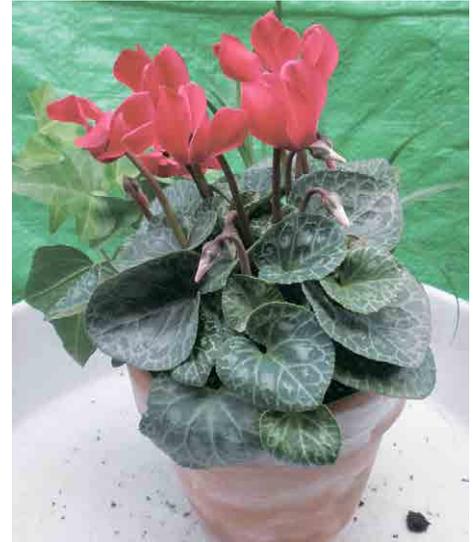
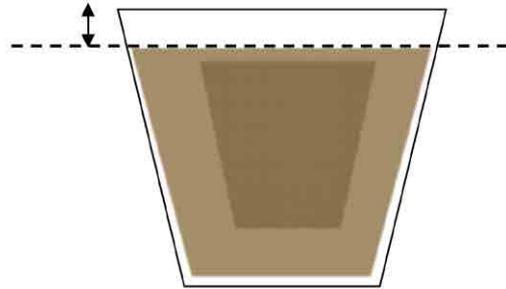


- ・ 鉢と根鉢の間に隙間ができないよう、割りばしを土にさして軽く動かす土が沈んだら、培養土を補充する。



4. 植え込み完成

- ・培養土が鉢の縁から2cmぐらいまでしっかり入ったら完成



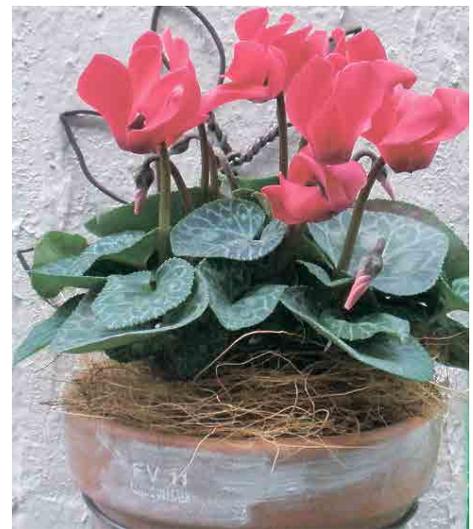
5. ウェルカムボードへ取り付けと仕上げ

ウェルカムボードに付いている針金の輪を広げ鉢を乗せてはめる。

鉢の表面の培養土が見えないように、ヤシ繊維で覆う。

このことをマルチングと言う。

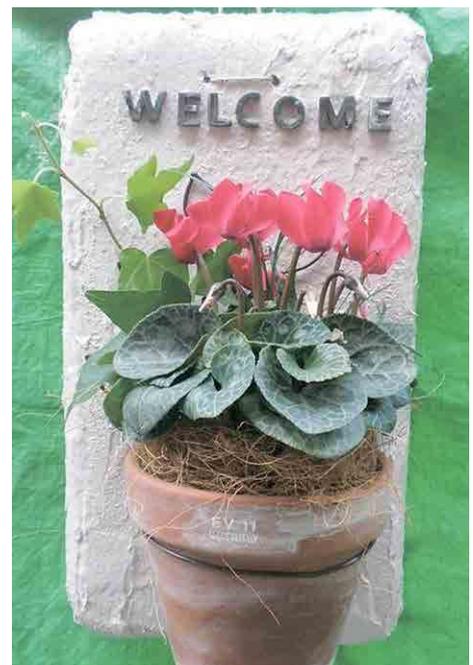
(美観向上、培養土流出防止、乾燥防止、防寒の効果あり)



6. 完成



子供や家族が参加して賑わう会場



■ 管理の説明

- ・ 水やり 家に持ち帰ったら、鉢の根元にたっぷりと水を与える。
秋は毎日、冬は2日ごとに。
- ・ 置き場所 屋外の日当たりのいい場所に置く。（極寒期、降雪期は軒下に移動）
- ・ 花がら摘み 枯れた花を摘み取る、結実防止、病気発生防止などを説明。

■ 指導のポイント

- ・ 初めての方にも参加しやすいようにワンコインで廉価に、簡単で手軽にできる内容を設定。実施会場は、別のイベントと併用して使用している為、時間的な制約があり、設置、講義、撤収を30分で行う。そのため、下準備を事前に行いスムーズに実施ができるようにした。
- ・ 近隣の住民の方を対象としている為、園芸の未経験者も多いが、限られた時間で簡単にできることが条件であったので参加者4人から5人に対し指導スタッフを1名確保し十分なサポートを行い、初心者や子供でも時間内に作成できるようにした。
- ・ 全体の流れを確認できるように作成手順のパネルを使って説明した。



作成手順のパネル

■ 工夫している点

- ・ 「店で売っていないものを自分で作る」をコンセプトに、オリジナルの器や装飾を事前に施した資材を使用。
- ・ 植物に興味を持ってもらうために参加者にマザーリーフ（セイロンベンケイソウ）を配布して育ててもらっている。葉の周りに小さな芽がたくさん付き、増えていく。とても成長が早いことから人気の植物。
- ・ 花育教室体験後には、さまざまな植物にも関心を持ってもらうために人気の多肉植物を全員にプレゼントしている。くじ引きで、引いた番号によってプレゼントされる品種が決まる。



マザーリーフの育て方と見本



多肉植物も、参加者全員にプレゼント

■ 経費

- ・花材、資材で1人当たり500円ほど（人件費、会場設営、運営備品代は含めない）
- 器、ハンギング資材は、主催者側で自作し経費節減している。

■ 参加者からの感想

- ・「こういうの欲しかった」
- ・「昨年に続き参加させていただきました」

■ 今後の課題

- ・ワンコインなど低価格で花育体験ができるように、アイデアにつなげる為の情報収集を行う。

■ 世田谷市場まつり



イベントパンフレット



花即売所には多くの花鉢や苗が並ぶ